

- ✓ バリアフリー2025ご来場御礼
- ✓ フリーRレール新商品のご紹介
- ✓ 作業療法士からみた生活改善
- ✓ 建築から見るデザイン紀行

第31回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展

## バリアフリー-2025

ご来場ありがとうございました!



福祉用具や住宅改修の手すりを中心に展示を行いました。初めてお披露目するコンセプトモデルや今年の4月に発売したばかりのフリーRレール新商品も実際に見て・触れていただくことができ、おかげさまで大盛況となりました。

## バリアフリー2025でも話題のフリーRレール新商品がコチラ!



持出タイプだから  
手すりが  
より体の近くに

**NEW**

支柱付  
エンドブラケット  
フロント専用



しっかり握りやすい  
ディンプル (凹凸) 付

**NEW**

直棒手すり  
ディンプル付

※ディンプル付は直線タイプのみ発売



BAUHAUS

Free R rail

2025.  
4月  
新発売



## 認知症のリスクを軽減する環境

認知症の有病率が減っていることをご存じでしょうか。

厚生労働省が2017年に報告した認知症の有病率は15%、2022年の調査では12.3%と減少していたことが示されています。加えて、認知症と軽度認知障害(MCI)を合わせた有病率は、2012年が28%で、2020年の28%と変化がなく、軽度認知障害(MCI)から認知症に移行する割合の減少を挙げています。その要因について、喫煙率の低下、早期の高血圧・糖尿病・生活習慣病管理の改善、健康に関する情報や教育の普及による健康意識の変化などにより、認知機能低下の進行が抑制され、認知症の有病率が低下した可能性があると述べています。

認知症リスクが低下する取り組みに関して、上記の要因に加えて成果が示されているものがあります。

高齢者の生きがいを醸成することで、高齢者の長期的な健康とウェルビーイングを向上させます。生きがいを持つことで、社会参加が増加し、健康行動が向上し、ストレスが減少するなど、健康に影響するとされています。更に、運動に関しても、ラジオ体操を実践した群では、していない群と比較して、認知症のリスクが18%低下していたことが報告されています。そして、笑う機会が多いグループは少ないグループと比べ認知症リスクが26%低くなるとされています。また、「友人と話をしているとき」「子供や孫と接しているとき」「ラジオを聞いているとき」笑った人は、認知症リスクが約10-15%低いことが示されています。

高齢期、特に後期高齢期には、心身機能の低下により、日常生活を遂行するだけで精一杯といった場合が少なくありません。その様な状況になる前に、家事サポートなどのサービス利用、生きがい活動や運動の機会、笑う機会を維持・継続できる環境づくりが求められます。

その環境は、地域社会での社会的関係性に加えて、屋外とアクセスが行いやすい環境になると思います。具体的には、上がり框が昇降しやすく、履物を操作しやすい姿勢が取れること、明るく履物の操作がしやすいことが求められます。外出の際の一連の動作が行いやすい動線で行える配慮が必要になります(図1)。



図1) 高齢者が屋外とアクセスが行いやすい環境

### 参考文献

- 1) 二宮利治, 認知症及び軽度認知障害の有病率並びに将来推計に関する研究報告書, <https://www.eph.med.kyushu-u.ac.jp/jpsc/uploads/resmaterials/0000000111.pdf?1715072186>, 2023
- 2) 奥園裕子(ハーバード大学大学院), 生きがいを持つと認知症リスクが0.69倍、幸福度が0.4ポイント増加する～高齢者の生きがい作りで、高齢者の健康とウェルビーイングを向上の可能性～, JAGES Press Release NO:329-22-5
- 3) 金森悟(南宮大学大学院), ラジオ体操で認知症リスクが18%低下～ラジオ体操以外の体操では要支援・要介護や認知症リスクが13～19%低下～, JAGES Press Release NO:446-24-32
- 4) 王雨(大阪大学), 笑う機会が多い高齢者は認知症リスク約2.5割減～特に友達・子供や孫との笑いが効果的～, JAGES Press Release NO:341-22-17

建築から見る

## デザイン紀行 7

～過去から現在そして未来へ～

東大寺 二月堂 (奈良県・奈良市)

実際に訪れてみると、今までに訪問した寺社仏閣にはない、唯一無二の体験でした。

あくまでの個人の主観ではありますが、二月堂からの景色、周辺環境全てが、創建当時を想起させる趣に溢れていました。若草山から二月堂へとアプローチしたのですが、まず目に入ってくるのは立派な校倉造りの正倉。そこを抜けると突如右手に二月堂が現れ、圧倒されます。

実際にお堂に上ってみると、そこからは奈良の街並みが一望でき、市街地は、実際よりも小さく、そしてはるか先に見え奥には山々が連なります。まるでタイムスリップしたかのよう。お堂を後にし、降りた先にも創建当時を思わせる建物、そして正倉院の方へと下ると時代劇でみたことのあるような小道、そして、なぜか趣のある畑。ここを訪れるすべての人をタイムトラベルへいざないます。

当時の雰囲気や建物、伝統を継承するということは一筋縄ではいきません。自然環境との調和や、変わりゆく時代との調和、伝統行事の継承や建物の修復、維持。そして然るべき素材。過去、現在、未来へと繋ぐヒントがここには残されている気がします。



アプリも登録も不要!

MAZROC WebAR

スマホ  
デモ機

手すりを 実物大で

バーチャル配置!

さっそくARで  
手すりを  
置いてみる▶▶



福祉住環境  
コーディネーター 道  
の答え: ④ 構音障害

マツ六公式SNS  
更新中!



Instagram ▶ @mazrocofficial  
X ▶ @mazrocofficial1

Facebook ▶ facebook.com/mazroc/  
YouTube ▶ @mazrocsho

発行元: マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号  
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

<https://www.mazroc.co.jp/>

MAZROC 2505-1

